

地域自治体・DMO向け地方創生ソリューションのご紹介

～フードツーリズムマイスター養成講座～



感動のそばに、いつも。

地域を取り巻く課題

地域を取り巻く課題例

地域 社会

- ✓ 少子高齢化や人口流出により人口が減少している
- ✓ 人口減少により地域を支える機能の維持が難しくなっている

事業者

- ✓ 人口減少による人材不足・事業後継者不足が進行している
- ✓ マーケティング機能が不足している

観光

- ✓ 魅力ある地域の観光資源が発掘しきれていない
- ✓ 物見遊山から体験型に旅行者の志向が変化している

フードツーリズムマイスターを活用した地域課題の解決

【フードツーリズムマイスターとは】

地域ならではの食・食文化を活用し、様々な体験やサービスをデザインする

フードツーリズムのプロデューサー。日本全国、どの地域でも必ず存在する地域固有の食・食文化を観光資源とすることで、交流人口の拡大と関連産業の発展を促す効果が期待できます。

フードツーリズム

地域ならではの 食・食文化

- ・農産物・農園・田園
- ・水産物・漁港
- ・畜産物・牧場
- ・加工食品・食品工場
- ・飲食店・商店街
- ・物産店・酒蔵・市場
など

×

様々な体験

- ・食べる
- ・見学する
- ・話を聞く
- ・仕込む・育てる
- ・収穫する
- ・つくる
- ・巡る など

×

サービスデザイン

旅行者に対する観光サービスとしてデザインする。

生産者) 活動例：地域食材のPRで地域活性化を



フードツーリズムマイスター
vege-table (ベジタブル) 代表
持田成子さん (熊本県)

豊富な食と農と観光資源を核にして、あたり前と
思いすぎて気づいていない資源や、人を繋ぎなが
ら、熊本の復興に繋げていけたらと思っています。

飲食業) 活動例：観光地で飲食店を経営



フードツーリズムマイスター
自営業 (城崎温泉で喫茶店経営)
安田啓一さん (兵庫県)

地域や農家の方々との繋がりをお客様へのサービ
スにいかにか活かしていくのか、現在考え、地域の
食材毎に地域ならではの付加価値を加え、お客様
に満足していただけるような商品を作りたいと
思っています。

自治体) 活動例：地域の活性化を目



フードツーリズムマイスター
公務員
拝郷紀行さん (岡山県)

地域内に埋もれている観光資源 (食・文化・歴史)
を多くの方に知ってもらいたいので、地域
外からの旅行者・定住者呼び込めるようなツ
アーを企画し、ツアーを実行したいと考えてい
ます。

なぜ今フードツーリズムなのか

【フードツーリズムの可能性】

「地域ならではの食・食文化を楽しむことを目的とした旅」で、欧米ではガストロノミー（美食術、地域の食文化と人々の関係を示す言葉）の概念と共に広く普及しています。

「地域の食・食文化」をテーマに、**食を育む様々な観光資源の魅力と共に一体的に伝え、地域への誘客促進を図っていく**ことが、地方創生の切り札として注目されています。

【フードツーリズムのもたらす3つの効果】

①旅行者の誘致・リピーター促進・オフシーズンの解消

②地域の食の魅力発信・関連産業の発展

③食を切り口にした地域の結びつきの強化

が期待されています。

<地域で取り組むフードツーリズムのイメージ例>



地域の絶景を見ながら、地域の食材を使って旅行者が調理をし、その場で食事ができる体験サービス。



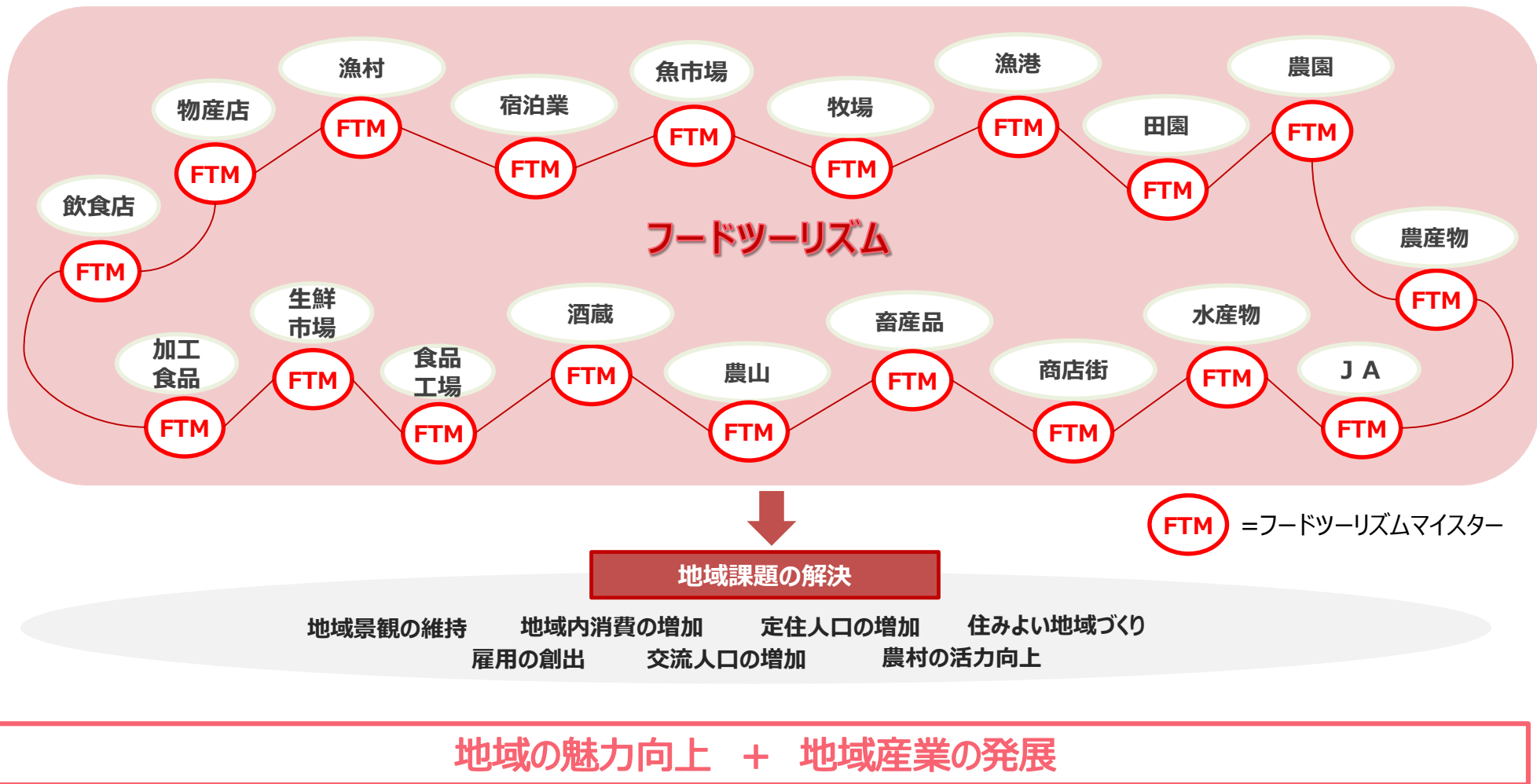
農作物を収穫し、収穫した食材を旅行者がその場で食べることができる体験サービス。



漁師の人の話を聞きながら、旅行者がその漁港でとれた水産物を食べることができる体験サービス。

フードツーリズムマイスターを基軸にした地域産業の発展イメージ

フードツーリズムマイスター(下記FTM)を育成し、関連産業のフードツーリズムをプロデュース。フードツーリズムマイスターを基軸に、各事業者が一丸となって地域の魅力を高め、持続的な地域の産業をつくっていきます。



フードツーリズムマイスター養成講座プログラム

フードツーリズムマイスターの育成から、流通の仕組づくりまでプログラム化されています。

料金目安
20名開催の場合

STEP 1 プランづくり

講座：フードツーリズムマイスター養成講座

【内容】 ツーリズム概論とフードツーリズム/地域の食の魅力/地域の食を引き立てる体験/プランニング/試験
【所要】 1日 【講師】 日本フードツーリズム協会

2日間
連続実施

ワークショップ：フードツーリズムプランづくり

【内容】 旅行者にとって地域の食の魅力の価値を紐解く/体験の整理/ターゲット客の整理/プランづくり
【所要】 1日 【講師】 フードツーリズムマイスターファシリテーター

フードツーリズム
プランの
つくり込み

1か月

STEP 2 流通支援

講座・ワークショップ：フードツーリズムをオンラインで流通させるポイントの習得

【内容】 プラン共有・着地型体験のトレンド・売れるプランのポイント・オンラインへの掲載方法
【所要】 1日 【講師】 専門分野の実務経験のある講師（JTB国内仕入商品事業部など）

STEP 1

2,300,000円
(税別価格)

STEP 1～ STEP 2

3,500,000円
(税別価格)

STEP 3 ※オプション

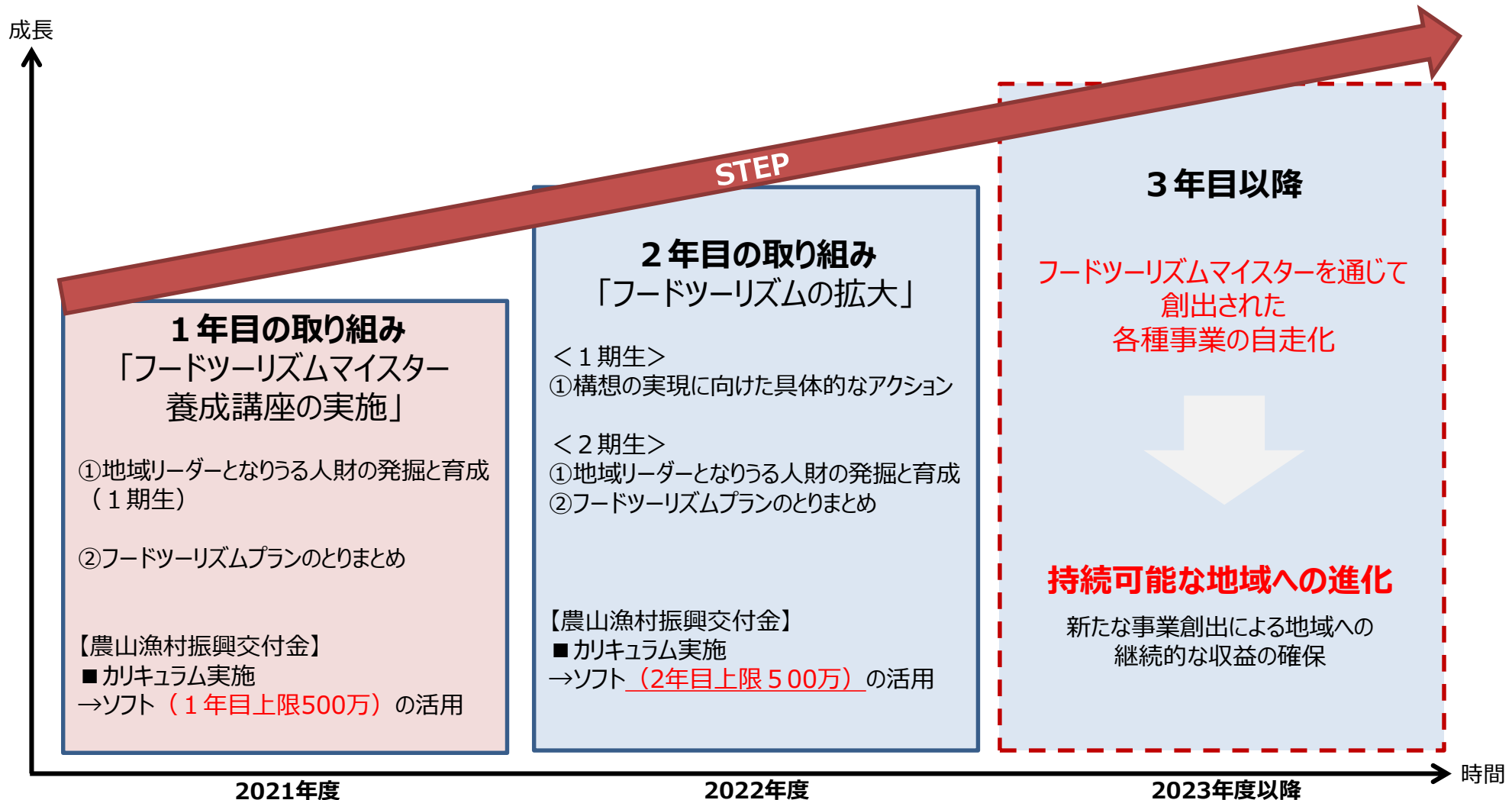
フードツーリズムの流通の仕組づくり

- ファムトリップ・商品化個別支援
- 地域コンテンツ管理・販売システム『エリアゲート』の導入・活用
- 体験予約WEBサイトに特集ページの開設 など

フードツーリズムの拡大イメージ

フードツーリズムマスターを活用した3か年イメージ

= 農山漁村振興交付金を活用する際の条件



(株)JTB 霞が関事業部 影山葉子

email:y_kageyama518@jtb.com